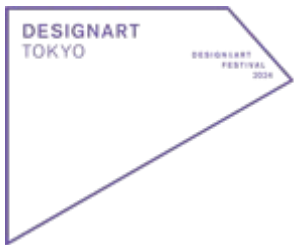


DESIGNART TOKYO 2024 REPORT

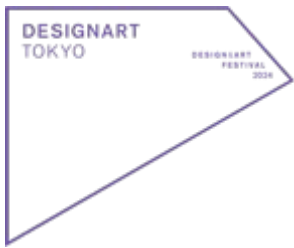
DESIGNART TOKYO 2024 報告書



CONTENTS

目次

- 2. **CONCEPT**
コンセプト
- 3. **RECORD**
実績
- 04-09 **EXHIBITIONS**
展覧会
- 10-11 **OFFICIAL EXHIBITIONS**
オフィシャルエキシビジョン
- 12 **OFFICIAL PROGRAMS**
オフィシャルプログラム
- 13 **AWARDS**
アワード
- 14 **EVENTS**
イベント
- 15 **SALES RECORD**
販売実績
- 16 **OPENING CEREMONY**
オープニングセレモニー
- 17 **TOOLS**
制作物
- 18-21 **ONLINE CONTENT**
オンラインコンテンツ
- 22-25 **PRESS**
掲載実績
- 26 **CREDIT**
クレジット



CONCEPT

コンセプト

今年のテーマ

Reframing

～転換のはじまり～

What is DESIGNART TOKYO?

DESIGNART TOKYOとは

「INTO THE EMOTIONS ～感動の入口～」をコンセプトに、2017年にスタートした日本最大級のデザイン&アートフェスティバル。世界屈指のミックスカルチャー都市である東京を舞台に、世界中からインテリア、アート、ファッション、テクノロジー、フードなど、多彩なジャンルをリードする才能が集結し、都内各所で多彩な展示を開催します。

各展示を回遊しながら街歩きが楽しめるこのイベントは、気に入ったらその場で購入可能な作品が多いのも大きな特徴。また会期中、国内外のクリエイティブ関係者が交わることで想像を超えた化学反応が生まれ、新しいプロジェクトに発展したり、期待のホープが世の中に羽ばたくきっかけになることも少なくありません。

サステナビリティが常識になり、「つくる責任 つかう責任」が問われるなか、クリエイティブなものづくりは、これからの社会を支える原動力です。日々の暮らしに、長く愛せるデザイン&アートで潤いを。東京の街全体がミュージアムになるDESIGNART TOKYOは、そんなかけがえない出会いや感動をボーダレスにつないでいきます。

Outline

開催概要

主催
DESIGNART TOKYO 実行委員会

期間
2024年10月18日（金）～27日（日）

参加者団体
国内外から集まるデザイナー、アーティストプロジェクト、ブランド、企業、ショップ、ギャラリー、美術館など

ターゲット
国内外から東京に集まる流通関係者、企業、バイヤー、プレス関係者、デザイン、アートなどに関心のある一般消費者、学生など

Venues

会場

表参道・外苑前・渋谷・原宿・六本木・広尾・銀座、東京などに位置する96箇所（117出展者）の商業施設やインテリアショップ、ギャラリーなど



RECORD

実績

過去最大規模となる117の多彩なプレゼンテーションが集結した10日間。
来場者数はのべ22万人を記録。

来場者数

のべ約227,000人

Web&SNSコンテンツ

約161万ビュー

(8月3日～11月10日実績)

メディア掲載数

601記事

(11月13日時点)

会場数

96会場

出展者数

117組

参加クリエイター&ブランド数

約260名

マッチング数

45組

オフィシャルポスター発行部数

300部

オフィシャルガイドマップ発行部数

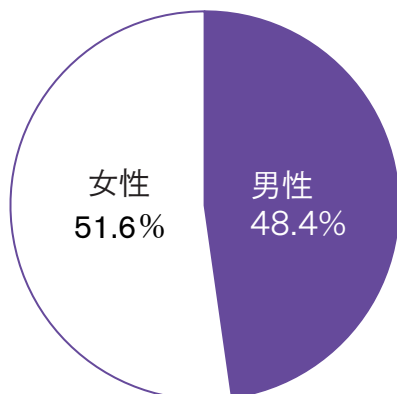
30,000部

実施オンラインコンテンツ

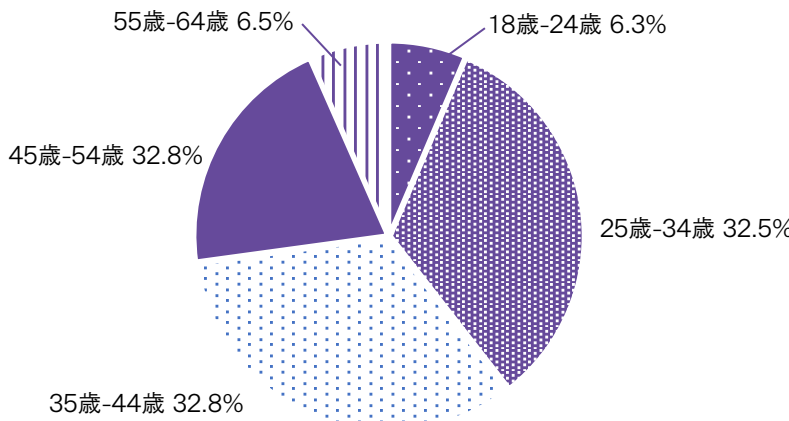
- ・PR動画制作 (YouTube、Instagramなど)
- ・オンラインマップ (Google Map)
- ・Instagramレポート (Instagram)
- ・ギフトキャンペーン (デジタルスタンプラリー・SNSハッシュタグ投稿)

SNSフォロワー属性 *数値はInstagram

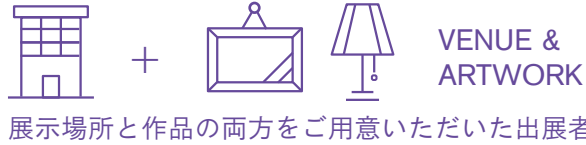
性別



年代



EXHIBITIONS PLAN A

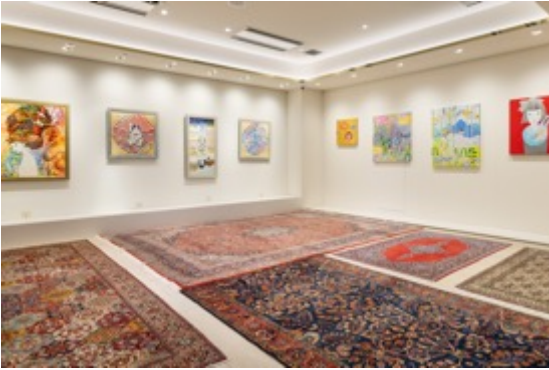


出展者 プランA

LIONRUGS × KAORUKO

at ライオンラグス青山

ベルシャ絨毯専門店であるライオンラグスが現代アーティストKAORUKOとコラボレーション。今回の為に制作した最新作や彼女の作品から制作されたベルシャ絨毯を初公開した。



Hana-arashi by nendo

at Paola Lenti Tokyo

Paola LentiによるMottainai（もったいない）プロジェクトの第2章。NendoがPaola Lentiの自社開発ファブリック「Maris」の端材を使用し、新たなコレクションを展示。



The First 130 - Furnitures in Space -

at ISSEY MIYAKE GINZA / 442 3F

Magna Rectaによる130 (One-Thirty) は特有の格子状の構造を利用した新しい表現のテーブル、チェア、天井照明をISSEY MIYAKE GINZA / 442で特別展示を行った。



落合陽一個展「昼夜の相代も神仏：鯨丸・鰻トロコン」

at BAG-Brillia Art Gallery-

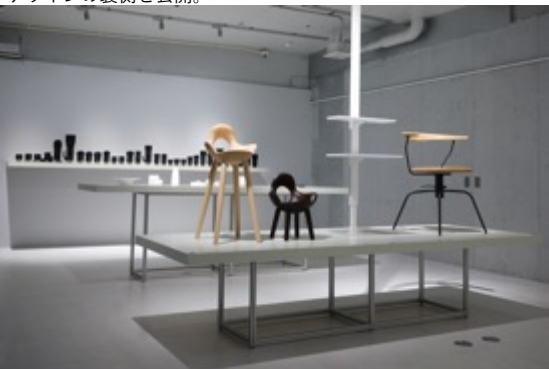
メディアアーティスト落合陽一による個展。落合氏が長年追求してきたデジタルネイチャー・計算機自然という哲学体系を基盤に時間と空間の循環的な性質を探究する展覧会となった。



Takram

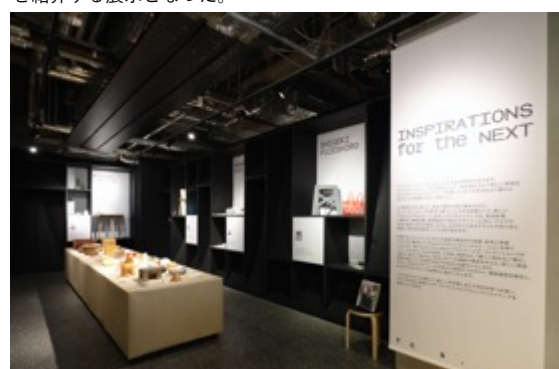
Takramのプロジェクトデザインとその裏側 at SAS

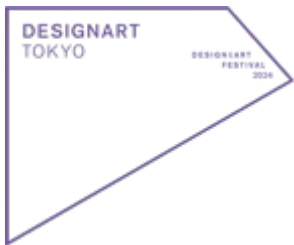
デザイン・イノベーション・ファームTakramは、数あるプロジェクトの中からプロダクトのデザインに焦点を当て、実際の製品とともにそのデザインの裏側を公開。



The Conran shop Marunouchi INSPIRATIONS for the NEXT

4名のデザイナーと、アジア・日本らしい現代的な家具作りを目指し新たな活動を開始。本展は新しい商品開発への礎となる、INSPIRATIONSを紹介する展示となった。





PLAN A EXHIBITORS

プランA 出展者

- sync株式会社
- 株式会社インターオフィス (Knoll Japan)
- 株式会社インターオフィス (MUUTO STORE TOKYO)
- 株式会社 Stellar&Co. (Steller Works)
- ソニーグループ株式会社
- 株式会社ジョンソンホームズ (blocco)
- (株)カッシーナ・イクスシー
- 平田椅子製作所
- 株式会社アクタス (青山店)
- 株式会社アクタス (丸の内店)
- 株式会社KOMA
- 株式会社NODA Japan (AREA Tokyo)
- 株式会社NODA Japan (Roche Bobois TOKYO)
- 株式会社トウルー (MAHO KUBOTA GALLERY)
- 株式会社LIXIL
- 株式会社リッツウエル
- パナソニック株式会社
- 株式会社ドラフト
- 反甫心映
- Vitra株式会社 (Artek Tokyo)
- YASUAKI MATSUURA
- 株式会社ウェルカム (HAY)
- 株式会社ウェルカム (CIBONE)
- 株式会社乃村工藝社
- en one tokyo inc. (Gallery Common)
- パリュエンスジャパン株式会社
- THE BATHROOM PROJECT
- 株式会社IMCF
- KEF
- 株式会社ヤマダデンキ (Poltrona Frau)
- Prada Japan Co., Ltd.
- Otherwise Gallery
- 株式会社センブレデザイン
- 株式会社ライオンラクス
- 株式会社FFJ (FLEXFFORM)
- アルフレックスジャパン (Molteni&C)
- Cosentino Japan
- VCUarts Qatar
- 富士フイルム株式会社
- 株式会社Design Do
- 株式会社Takram Japan
- Creative リトアニア
- 株式会社オカムラ
- dotcom Japan株式会社
- セイコーウオッチ株式会社
- Levi Strauss Japan
- トリーパーチジャパン (渋谷パルコポップアップ)
- トリーパーチジャパン (銀座店)
- 100BANCH
- 石倉亜聖
- The Chain Museum (アートかビーフンか白厨)
- HYBE Design Team
- 株式会社プレステージジャパン (Time & Style)
- CANUCH Inc.
- 株式会社アトランティックカーズ (Paola Lenti)
- パブリック株式会社 (arti)
- ビービーメディア株式会社
- IROCO Design
- ヤマハ株式会社 デザイン研究所
- 杉田エース株式会社 (PATIO PETITE)
- (株)DNPアートコミュニケーションズ (ギンザ・グラフィック・ギャラリー)
- エルメスジャポン
- 株式会社MAGANARECTA
- (株)松屋
- 株式会社STUDIO KAZ
- 大蔵山スタジオ株式会社 (ザ・ギャラリー東京)
- 東京建物株式会社 (BAG-Brillia Art Gallery-)
- USM U. シェアラー・ソンス株式会社
- Apple
- 株式会社コンランショップジャパン (丸の内店)
- 株式会社コンランショップジャパン (アースガーデン)
- 東京ステーションギャラリー
- 株式会社高島屋
- 日本製鉄株式会社
- 株式会社MAKE AND SEE (EDITRA)

計：76組

EXHIBITIONS PLAN B

出展者 プランB（または会場協賛）

at TOKYO MIDTOWN

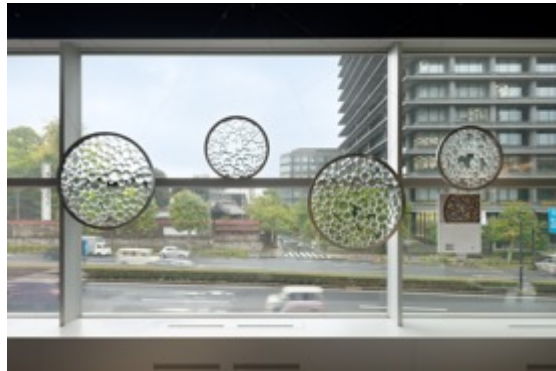
DESIGN TOUCH 2024のテーマ「つむぐデザイン-Weaving the Future-」に寄り添うクリエイターとして、今年のUNDER 30に選出された竹下早紀、AAAQに加え、若田祐輔の3組を紹介し、ガレリア2Fの各スペースにて展示。



竹下早紀

at GROHE 赤坂ショールーム

プレミアム水栓金具ブランドGROHEのインスピレーションの源でもある「水」に着想を得て、ガラス作家、安藤里実が「OOO」と「Puddle」の2つのガラス作品により幻想的な水の世界観を表現。



at 西武渋谷A館 1階ショーウィンドウ

現代アート作家MARINOの作品とNOI STUDIOが原画をもとに派生させたAIによる生成画像を展示し、未来のアートのあり方や可能性を表現。



VENUE ONLY

展示会場をご用意いただいた出展者
会場協賛により展示会場をご提供いただいた会場

*DESIGNARTのマッチングコーディネートにより展示が実現

at ニーシング青山

ドイツのモダンジュエラーNIESSINGとクリエイティブユニットKIGIが手がけるアイウェアブランドTWOFACEは、双方のデザイン哲学の中にあるバウハウスよりインスピレーションを受けた革新的なコラボレーションを実現。



at foundation

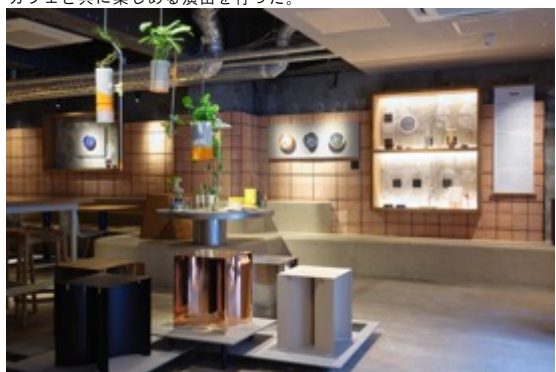
今年7月にオープンした3rd.incが運営するギャラリースペースfoundationにて、池部ヒロト(UNDER 30)とYU WATANABEの2組が、それぞれに共通する日本古来の産業文化を独自の視点で研究し、新たな可能性を引き出す作品展示を行う。

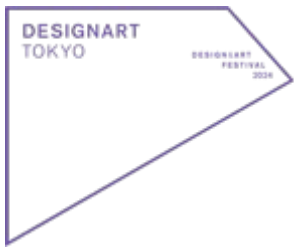


池部ヒロト

at Common

デザインファームTHATが2021年の設立からこれまでに開発してきた製品および新作をCommonの空間に合わせて一堂に展示し、朝昼夜それぞれの時間帯をカフェと共に楽しめる演出を行った。





PLAN B EXHIBITORS

プランB (または会場提供) 出展者

東京ミッドタウン (ガレリア2F Aēsop前)
東京ミッドタウン (ガレリア 2F ペラフィネ前)
東京ミッドタウン (東京ミッドタウン ガレリア 2F ペラフィネ横)
GROHE赤坂ショールーム
ニーシング青山
seen B1F
TIERS GALLERY
スパイラル エスプラナード (スパイラルM2F)
リノべる。b1.
西武渋谷店A館 1階 ショーウィンドウ
西武渋谷店 A館 7階 EVENT HALL
西武渋谷店 B館3階 (コンポラックス売場)
文喫
Common
foundation
AXIS Building B1F-B111
AXIS Building B1F-B121
AURAS 東京
AXIS Gallery
日比谷OKUROJI [front of H03]
日比谷OKUROJI [H05]
日比谷OKUROJI [G13]
日比谷OKUROJI [G14]
日比谷OKUROJI 2Fイベントスペース
三井住友銀行東館1F アース・ガーデン
JR高架下スペースNo.32 (大手町)
景色/Keshiki

計：27組

EXHIBITIONS PLAN C

出展者 プランC



ARTWORK ONLY

作品のみをご用意の出展者

マッチングにより展示を実現

JOINT EXHIBITION: WOODWORK

at AXIS GALLERY

進化する技術とデザインにより新たな「木」の可能性を感じる場として7組のクリエイターおよびメーカー出展者を集めた初の試みとなる合同展。



NOMADIC COLLECTIVE

at リノベる。B1.

4人のインハウスデザイナーにより結成されたNOMADIC COLLECTIVEが目指すプロダクト作品との親和性の高い企業のオフィス空間を活用した展示。



NEORT

at JR高架下スペースNo.32 (大手町)

長く閉鎖されていた高架下スペースを活用した3人のデジタルアーティストによるグループ展。



CYUON / 小川直人 (乃村工藝社)

at 日比谷OKUROJI (H05前)

粉体塗装によるグラデーション技術と耐久性の高い素材の魅力や特性を活かして、半屋外の高架下スペースにて展示。



STRAFT

at KESHIKI

UNDER30に選出されたSTRAFTは稲葉を使った作品「NEST」を展示。稲作によって形成された日本人の潜在的な自然観を現代に投影することを試みた。

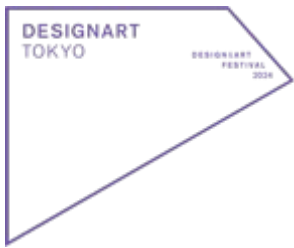


TOYOTA 構造デザインスタジオ

at Seen B1F

車に使用されるガラスや素材のやりサイクルを考察。TAKT PROJECTが空間デザインを担当し、素材の自由で多面的な変容性を展示した。





PLAN C EXHIBITORS

プランC 出展者

TOYOTA構造デザインスタジオ
FARM AND BUILD
HOJO AKIRA STUDIO
川本真也
PULSE
タジマ工業株式会社 (&T)
NOMADIC COLLECTIVE
MARINO.
慶應義塾大学 中西泰人研究室
共和鋼業株式会社 (X-lab)
株式会社TCD
株式会社THAT
AAAQ
竹下早紀
若田勇輔
YU WATANABE
池部ヒロト
大蔵山スタジオ株式会社
野原グループ株式会社 (Who)
PLOW DESIGN
CONSENTABLE
株式会社 iwakagu
株式会社マルホン
ODS / 鬼木デザインスタジオ
山本真也
タカスガクデザインアンドアソシエイツ (TGDA+639)
Kaibaデザインノード株式会社 (tossanaigh)
有限会社シリウス (CYUON × 小川直人/乃村工藝社)
株式会社HONOKA.lab (Aqua Clara × HONOKA)
ユカイ工学株式会社
AZUMA plywood.co.,ltd (COLOR and WONDER)
大地漠
東京大学生産技術研究所 DLX Design Lab
日の出工芸株式会社 (HINODE / cmyk吉里謙一)
matsuri technologies株式会社
TOMOMI YOKOYAMA DESIGN
株式会社NU (tsumichara)
NEORT株式会社
Straft

計：39組

OFFICIAL EXHIBITION

オフィシャルエキシビジョン

Reframing 展

DESIGNART TOKYO 2024のメインテーマ「Reframing～転換のはじまり～」をもとに、アート、デザイン、テクノロジー、工藝の各分野のエキスパートがキュレーションを担当。従来の枠組みにとらわれず、別の視点から見つめ直すことで、ジャンルを超えたクリエイティブ表現が来場者に新たな気づきをもたらし、それぞれの視点の拡がりが見られる鑑賞体験を提供しました。4人のキュレーターにより18組のクリエイターの作品を展示。伝統工芸からメディアアートまで幅広い作品群で「Reframing」の概念を表現しました。空間デザインはHYBE Design Teamが担当し、什器にはスタイルム瀧定大阪株式会社が展開する、ポリエステル繊維をリサイクルした新たな素材「TUTTI®（トゥッティ）」を使用し、無垢や塊の状態で再生素材を用いるというアイデアをかたちにしました。

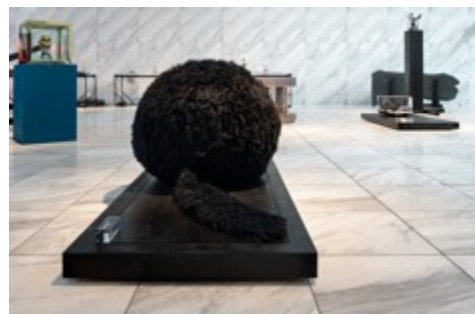
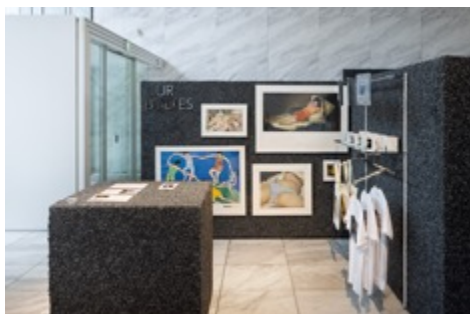
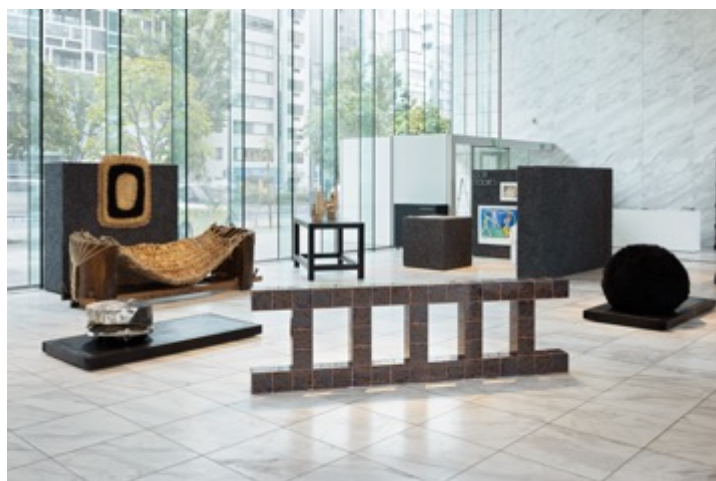
キュレーター：

金澤 韻（アート） 現代美術キュレーター / コダマシーン / アーティスティックディレクター

立川 裕大（工藝） 株式会社 t.c.k.w / 伝統技術ディレクター

青木 竜太（テクノロジー） 芸術監督 / 社会彫刻家

川合 将人（デザイン） インテリヤスタイリスト / スペースデザイナー / BUNDLESTUDIO Inc. 代表



参加クリエイター（18組）：ARKO / Ben Storms / Human Awesome Error / 中村弘峰 / Jiabao Li / India Mahdavi / José Zanine Caldas

長谷川 絢 / 平澤賢治 / Kenji Hirasawa and Yoshiki Masuda / Marion Baruch / みょうじなまえ / nendo / nor / 舘鼻則孝 / ryo kishi / STUDIOPEPE

The TEA-ROOM

協賛

WORLD

NOMURA

STYLEM

SET UP CO., LTD.

TIMBER CREW

MDES

RE:SET

K3

Mimaki

SDP

主催：DESIGNART TOKYO 実行委員会(株式会社デザイナーズ)

助成：公益財団法人東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京【芸術文化魅力創出助成】

ARTS COUNCIL TOKYO

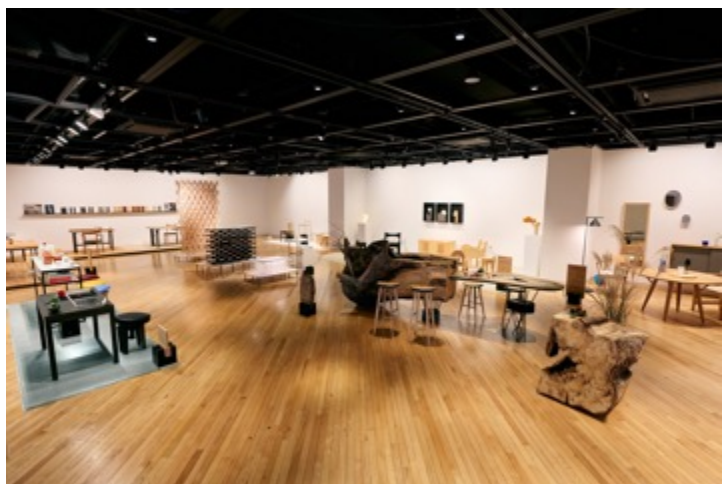
JOINT EXHIBITION

合同展示

JOIN EXHIBITION : WOODWORK at AXIS GALLERY

「木」をベースに作品づくりを行うデザイナーやブランドによる合同展示

参加出展者（7組）：CONSENTABLE / iwakagu / MARUHON / ODS | Oniki Design Studio / 山本真也 / TGDA+639 / tossanaigh



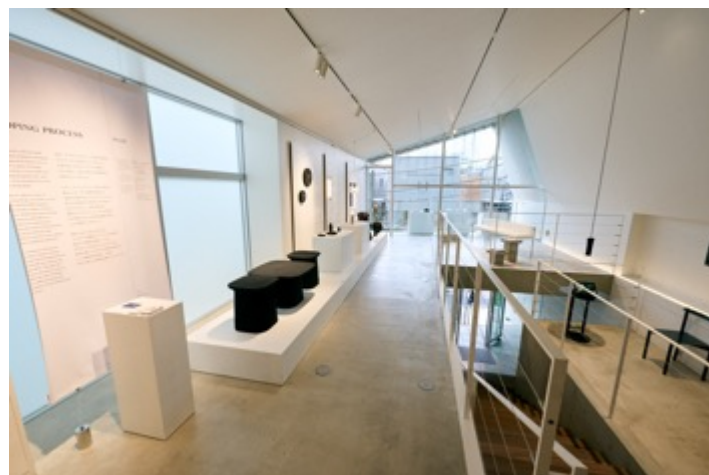
三井住友銀行東館 1F アース・ガーデン

DLX Design Lab / HINODE, cmyk 吉里謙一 / matsuri technologies creative unit / The Conran Shop, N.HOOLYWOOD / TOMOMI YOKOYAMA DESIGN / tsumichara 参加出展者（6組）



TIRES GALLERY

FARM AND BUILD / HOJO AKIRA / 川本 真也 / PULSE
参加出展者（4組）



OFFICIAL PROGRAMS

オフィシャルプログラム

OFFICIAL CHAMPAGNE

Perrier-Jouët

今年もDESIGNART TOKYOのオフィシャルシャンパーニュとして、200年余の歴史を誇る至高のシャンパーニュメゾン、ペリエ ジュエが開催に華を添えました。開催初日のオープニングパーティーでは500名以上の関係者がクリエイターと交流をしながらシャンパンを楽しみました。



OFFICIAL CAR

VOLVO EX30

DESIGNART TOKYO 2024のオフィシャルカーとして、DESIGNART TOKYO 2024のロゴをラッピングしたVOLVOのEX30が展示されました。EX30は、ボルボ史上最もコンパクトなSUVの電気自動車で、内外装の素材には環境に配慮した再生素材が多く使われ、デザインへの関心度の高い来場者へ向けてのアプローチとなりました。



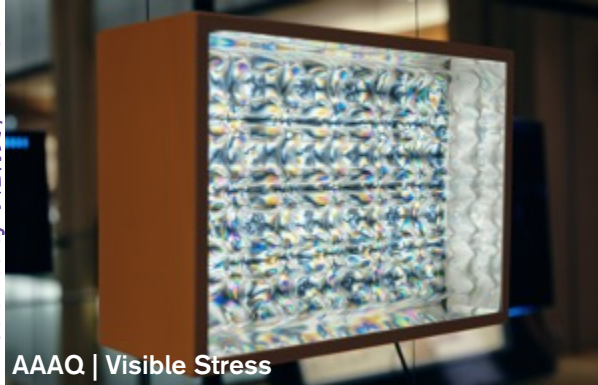
AWARDS

アワード

UNDER 30

2018年より継続している若手クリエイター支援制度「UNDER 30」。今年もDESIGNARTの発起人たちが独自の視点で将来を期待される30歳以下のクリエイターを選出。多くの応募の中から選出されたデザイン・アート界の明日を担う受賞者の展示は話題となりました。

Selected by 小池博史 / NON-GRID



AAAQ | Visible Stress

プロダクトデザイナー/プロデューサーの都淳朗・UIデザイナーの太田壮によるクリエイティブ・ユニット。AAAQは“Answer(答え)を作って作って作って、新しいQuestion(問い)を生む”というフィロソフィーのもと、感性と研究に基づく制作を行っている。

Selected by アストリッド・クライン、マーク・ダイサム
(Klein Dytham architecture)



Hiroto Ikebe | COCOON ANATOMY

テキスタイルアーティスト/デザイナー。「布」という存在を民族の内包する文化、習慣、信仰などが蓄積された“やわらかな化石”と捉え、独自の実験的なアプローチによるテキスタイルデザイン、アートワークの制作を行う。

Selected by 青木昭夫 / MIRU DESIGN



竹下早紀 | Eeyo

武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科卒。もの人と空間の関わりをテーマとし、素材に触れながら手で作り考えることを大切にしている。本展ではパルサ材を染色、200度近い熱風を当てて色を変化させ、グラフィカルに展開した作品「Eeyo(イーヨー)」を発表。

Selected by 永田宙郷 / TIMELESS



Straft | Nest

Tamaki IshiiとKazuma Yamagamiによるクラフトユニット。東京造形大学インダストリアルデザイン専攻を卒業。お米を収穫した後に残る稲わらを主な素材として扱い、伝統的なスタイルに現代的な感覚を取り入れた作品を制作している。

Selected by 川上シユン / artless inc.



HOJO AKIRA | Is that structure essential?

金沢美術工芸大学卒業。現在はインハウスデザイナーとして勤務しながら、個人活動もおこなう。マスのプロダクトを中心にデザインを行うことが多いことから、軸足を量産に置くことで感じる利点と違和感を分解・再構築し、構造や接合方法に焦点を当てたプロダクトを提案。

EVENTS

イベント

DESIGNART TOKYO 2024の会期中にはさまざまな関連イベントを開催。出展者が主催のトークイベントやパーティーなども多く開催され、来場者との交流の場となり、フェスティバルを盛り上げました。



DESIGNART TOKYO × DESIGN TOUCH Talk salon at 東京ミッドタウンインターナショナル・デザイン・リエゾンセンター

昨年よりDESIGN TOUCHと協業で行うトークイベントには平日にも関わらず、約200名の申し込みがあり、注目度の高いイベントとなりました。

10/24 11:30～ 【1】革新するブランディング

登壇者：

田川欣哉 (Takram 代表)

細尾真孝 (株式会社細尾 代表取締役)

モデレーター：木田隆子 (デザインジャーナリスト)



10/24 18:00～ 【3】Reframing ～転換のはじまり～

登壇者：

金澤 韻 (現代美術キュレーター／コダマシーン／アーティストックディレクター)

川合将人 (BUNDLESTUDIO Inc. 代表／インテリアスタイリスト／スペースデザイナー)

青木竜太 (芸術監督・社会彫刻家)

立川裕大 (株式会社 t.c.k.w/伝統技術ディレクター)

モデレーター

谷本有香 (Forbes JAPAN 執行役員 Web編集長)



© Brian Scott Peterson

PechaKucha Night × DESIGNART TOKYO Special at THE CORE KITCHEN/SPACE

10/22に行われたPechaKucha NightはDESIGNART TOKYO Specialとして、U30の選出者であるSTRAFTが登壇。さらに、出展者であるSONYグループクリエイティブセンター、KEFとコラボレーションをおこなったマイケル・ヤングなど、多彩なクリエイターが参加し、アイデアや思考方法を共有する有意義な時間となりました。



Today at Apple at Apple 丸の内

10/22にApple 丸の内にて、DESIGNART TOKYO代表の青木昭夫と、芸術と科学技術の融合による創作活動を探究する青木竜太によるトークセッションが行われました。今年のテーマは「Reframing -転換のはじまり-」。新たな発想を生み出す重要な要素と、それが社会に与える影響について語りました。自身の視点を再構築して、未来へのチャンスを発見するヒントが詰まったセッションになりました。

SALES RECORD

販売実績

総額 約2,300万円 (10月18日~10月27日の期間)

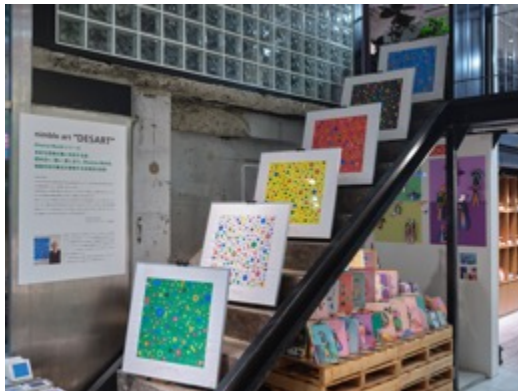
新作インテリアや、クリエイターとコラボレーションした作品の発表など、DESIGNART TOKYOの期間のみに販売されるものもあり、購買意識の高まりが売りに繋がりました。また今年もオンライン決済や独自のECサイトを利用し積極的に販売を行う出展者も多くみられ、展示だけでない活用方法の広がりを感じることができました。



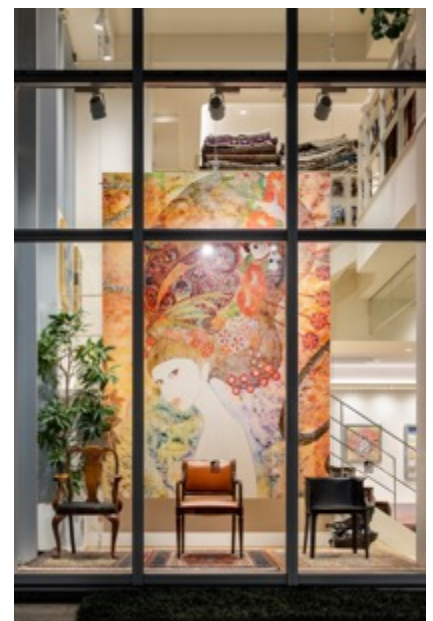
MUUTO



Paola Lenti



nimble art "DESART" at 文喫



LIONRUGS × KAORUKO



松屋銀座 デザインコレクション

OPENING CEREMONY

開会式

DESIGNART TOKYO 2024 開幕

10月18日（金） at ワールド北青山ビル

10月18日（金）の初日には、オフィシャルエキシビジョンの会場であるワールド北青山ビルにて、メディア関係者を対象としてオープニングセレモニーを開催しました。DESIGNART TOKYO発起人代表としてAstrid Kleinからのテーマの説明、キュレーターからはReframing展の出展作品の説明など、国内外のメディア合わせて約90名が参加し、10日間のフェスティバルの幕開けとなりました。

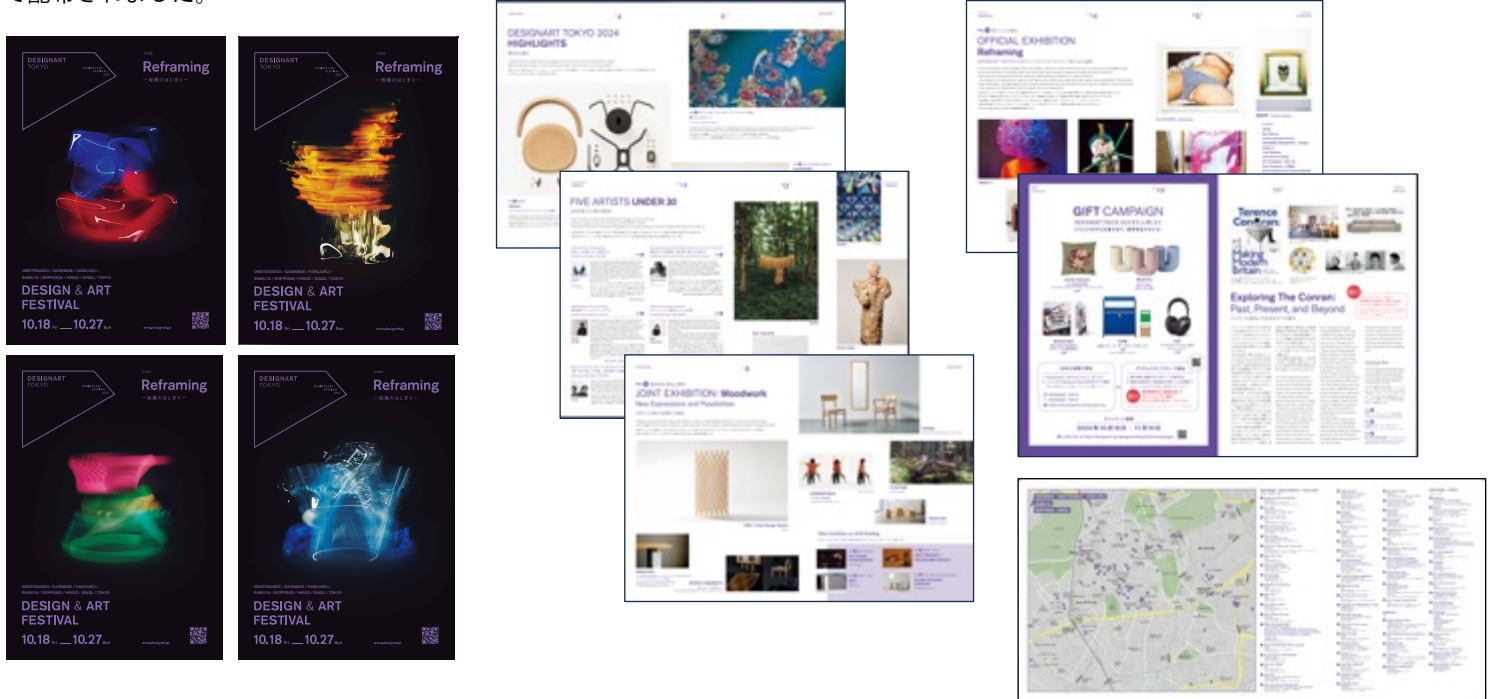


TOOLS

制作物

OFFICIAL GUIDEMAP

「Reframing ～転換のはじまり～」のテーマに合わせ、4種類のキービジュアルをフォトグラファーの小川真輝とともに制作。ガイドマップやポスター、Webサイトなどへ幅広く展開しました。A4サイズ、全24ページのガイドマップは事務局の注目する展示をハイライトで紹介。またUNDER 30やオフィシャルエキシビションの紹介など、厳選した情報を掲載しました。別紙のマップは全出展者の展示基礎情報を掲載。ガイドマップは3万部を発行し、各展示会場のほか都内各地の商業施設など約200ヶ所で配布されました。



INFORMATION CENTER

今年もワールド北青山ビルにインフォメーションセンターを設置。スタッフがガイドマップ等の配布、ご案内業務をおこないました。出展者のDMやメディアパートナーの見本誌なども配架しました。



OFFICIAL SIGNAGES

来場者への目印としてポスター、カッティングシート、サインスタンドを配布。また、デジタルスタンプラリーのQRコードスタンドも各出展者へ配布しました。



ONLINE CONTENT

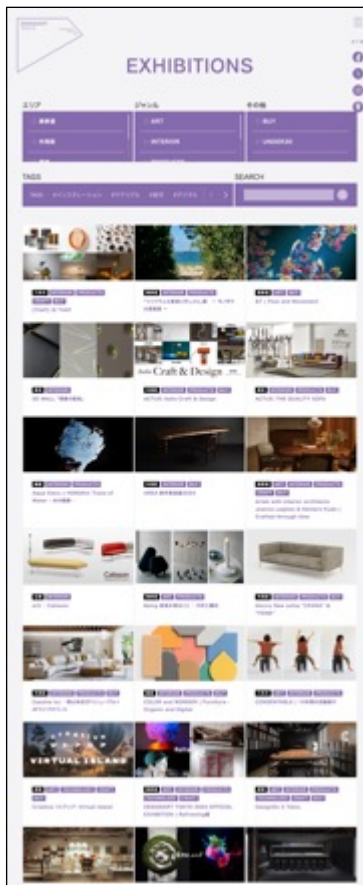
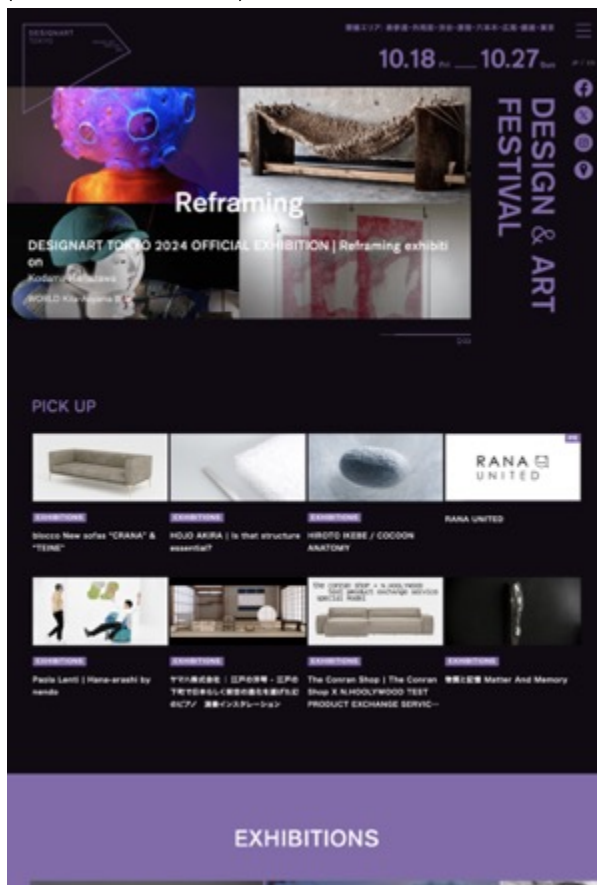
オンラインコンテンツ

各種SNSでは多くの出展者の情報がフォロワーに届くように、フォーマット化したクリエイティブ、計画性をもった投稿を徹底し、来場を促すための情報発信を強化。エリアごとの出展者のハイライトなどもおこないました。また、昨年より導入したデジタルスタンプラリーは継続しておこない、会場間の来場者の送客効果向上、出展者と来場者のコミュニケーションを増やすことでフェスティバル全体を盛り上げました。

OFFICIAL WEB SITE

出展者情報、クリエイターやブランドのプロフィール、イベント情報などはもちろん、エリアやタグなどでの検索機能を採用し、来場者が興味のある展示情報へアクセスしやすいUIを目指しました。トップページには注目展示やコンテンツの画像をスライド掲載し、日毎にローテーションで入れ替えを行うことにより、繰り返しの閲覧でも新しい出展者画像が表示され、よりビジュアルに訴える構成となりました。

DESIGNART TOKYO 2024 イベントサイト ページビュー数：約205,800 PV
(8月3日～11月10日実績)



Design : RANA UNITED

ONLINE CONTENT

オンラインコンテンツ

OFFICIAL SOCIAL MEDIA

DESIGNART TOKYOの公式SNSアカウントでは、全出展者の展示紹介、イベント、メディアパートナーや協賛企業の紹介など多くのコンテンツを配信しました。

投稿はジャンルごとにまとめて投稿することでフォロワーが情報へアクセスしやすいクリエイティブを目指しました。

会期中には実際の展示風景をMap No.と連動させて投稿することにより、オンタイムでの情報発信、ガイドマップとの連携をはかりました。また、インスタグラムレポートの動画再生は、サムネイルを見直しさらに再生回数増につながりました。

(数値は全て8月3日～11月10日実績)

Instagram (16,763 follower)

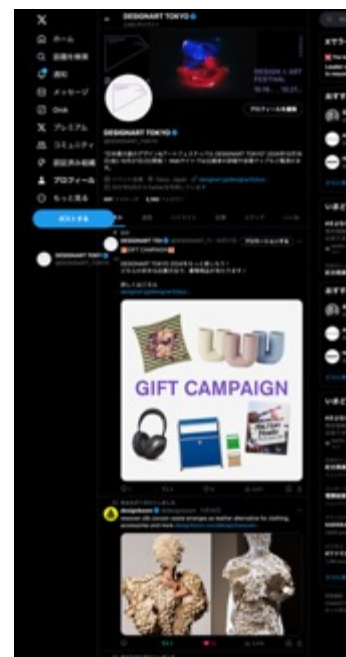
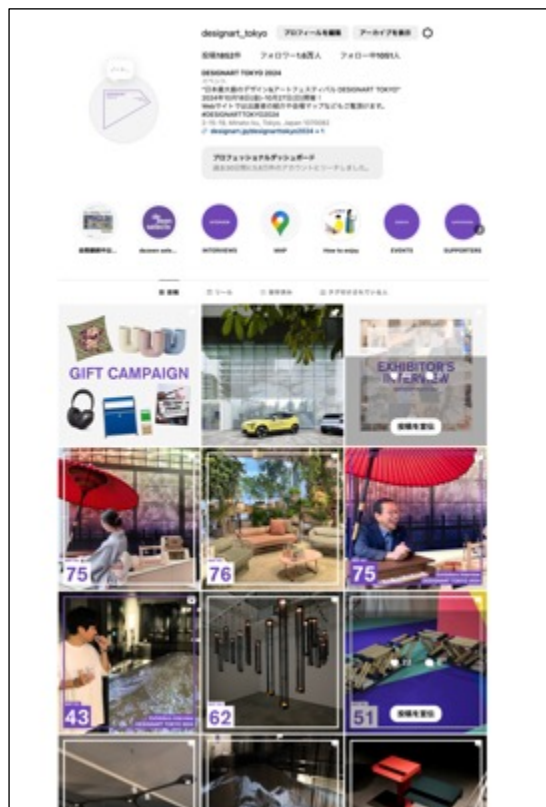
リーチ / インプレッション	129,413 / 1,149,479
フィード	314投稿
ストーリー	266投稿
新規フォロワー	+3,903

Facebook (6,455 follower)

インプレッション	32,427
フィード	297投稿
新規フォロワー	+65

Twitter (2,182 follower)

インプレッション	223,300
フィード	258投稿
新規フォロワー	+413



ONLINE CONTENT

オンラインコンテンツ

Instagram REPORT

Instagramでショートインタビューを発信するInstagramレポートは、70以上の出展者をご紹介しました。

今年のレポーターはDESIGNART代表の青木昭夫、インテリアライターの土橋陽子、女優のーノ瀬結、ブランディングディレクターの行方ひさこ、Youtuberのリッキーを起用し、それぞれの専門分野の目線からクリエイターの制作の裏側を探るレポートをおこないました。

動画は平均3000回以上の視聴回数となり、多くの展示の中から来場者が興味ある展示を探すきっかけとなりました。



Instagram REPORT合計リーチ数：166,575リーチ

Instagram REPORT合計視聴回数：261,904回

*Instagram REPORTはDESIGNART TOKYOの公式Instagramアカウント(@designart_tokyo)よりアーカイブにてご覧いただけます。
*数値は11月12日現在のものです

PR VIDEO

会期前の予感作りのためのティザー動画や、展示の背景を語るインタビュー動画を7本制作しました。会期前にSNSを通じて発信する他、Webサイトへの掲載、会場での展示の1場面として活用していただきました。



ONLINE CONTENT

オンラインコンテンツ

GIFT CAMPAIGN

例年行っているSNSのハッシュタグキャンペーンに加え、昨年に引き続きデジタルスタンプラリーを実施しました。各展示会場にQRコードを設置し5ヶ所以上のデジタルスタンプを集めると抽選で豪華商品が当たる仕組みとなり、複数の展示を回遊するきっかけとなりました。また、SNSでのハッシュタグ投稿に抵抗のある来場者にも気軽に参加でき、来場者が参加方法を選べることから、多くの方にご参加いただきました。

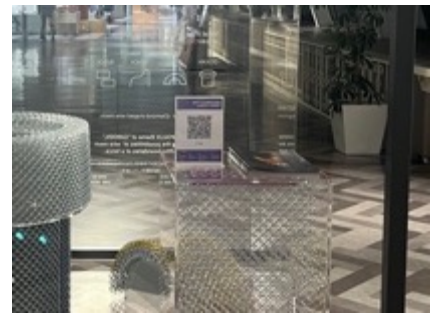
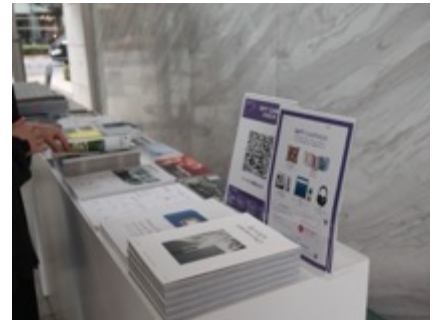
GIFT CAMPAIGN
DESIGNART TOKYO 2024をもっと楽しもう
どちらか好きな応募方法で、豪華商品が当たる!

roche bobois LA CROISIERE
MUUTO Kink Vase

Molteni&C MULTEM MONDO
USM USM+ワーローボードデスクスタンド
KEF ワイヤレスヘッドフォン Mu7

SNSの投稿で参加
デジタルスタンプラリーで参加

キャンペーン期間
2024年10月18日 - 11月10日



デジタルスタンプラリー参加者数

QRコード設置数	96ヶ所
総参加者数	581人
ギフト応募者	464人

ハッシュタグSNS投稿数 (#designarttokyo2024)

投稿数	約510投稿
-----	--------

Google MAP

Webサイトでは全出展者をマッピングしたグーグルマップを公開しました。多くの展示会場を効率的に回遊するために活用されました。



PRESS

掲載実績

掲載数：601記事（新聞 / 雑誌 / WEB / ラジオ / SNS） *2024年11月12日現在

国内外メディアパートナー：20媒体

DESIGNART TOKYOのPRチームは、国内外の幅広いメディアパートナーとの連携を深めながら、プレスリリースやSNSを活用して情報発信を行い、今年は11月12日現在で601媒体に取り上げられ、国内外から注目を集めるフェスティバルとしてさらに評価を高めました。特にUNDER 30は会期前から特集記事が組まれるなど注目を集め、展示への期待感を醸成しました。

会期中は、ジャーナリストやインフルエンサー、デザイナーなどによるSNS投稿が活発に行われ、DESIGNART TOKYO公式アカウントからも積極的に発信することで、来場者へのアプローチを強化しました。また、海外メディア関係者も来日し、日本のデザイン・アート業界へのさらに関心が高まっていることが示され、東京のデザイン・アートシーンの最前線を世界へ発信しました。

メディアパートナー



design
anthology



designboom®

AXIS
Web Magazine

de
zeen

知財
図鑑

DECOR
DESIGN
WALK
2024

JDN

Lula.com



ONBEAT



qui.tokyo

REAL LIVING
& INTERIOR

SHIFT

商店建築

[] TECTURE

the
Artling

TimeOut
TOKYO

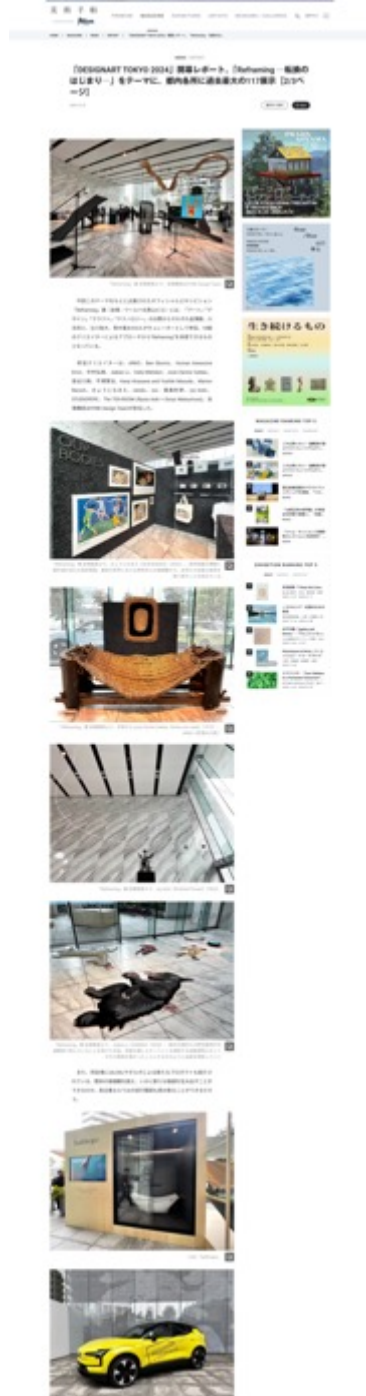
W World
Architecture
Community

PRESS

掲載実績

国内メディア

美術手帖



TECTURE MAG



QUI



AXIS



PRESS

掲載実績

海外メディア

designboom



The Japan Times



design anthology



Dezeen



PRESS

掲載実績

紙媒体

ONBEAT vol.21



大阪府立美術館の「DESIGNART TOKYO 2024」開催が決定。会場は、大阪府立美術館の「DESIGNART TOKYO 2024」を開催する。会場は、大阪府立美術館の「DESIGNART TOKYO 2024」を開催する。会場は、大阪府立美術館の「DESIGNART TOKYO 2024」を開催する。

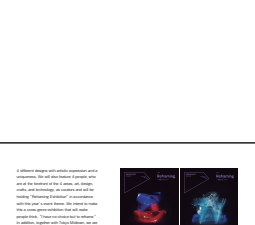


大阪府立美術館の「DESIGNART TOKYO 2024」開催が決定。会場は、大阪府立美術館の「DESIGNART TOKYO 2024」を開催する。会場は、大阪府立美術館の「DESIGNART TOKYO 2024」を開催する。

大阪府立美術館の「DESIGNART TOKYO 2024」開催が決定。会場は、大阪府立美術館の「DESIGNART TOKYO 2024」を開催する。会場は、大阪府立美術館の「DESIGNART TOKYO 2024」を開催する。



大阪府立美術館の「DESIGNART TOKYO 2024」開催が決定。会場は、大阪府立美術館の「DESIGNART TOKYO 2024」を開催する。会場は、大阪府立美術館の「DESIGNART TOKYO 2024」を開催する。



SWITCH 11月号(10/20発売)



DESIGNART TOKYO 2024 Reframing - 転換のはじまり -

ELLE DECOR DESIGN WALK 2024

ELLE DECOR DESIGN WALK

秋のデザインイベント、今年のおすすめは？



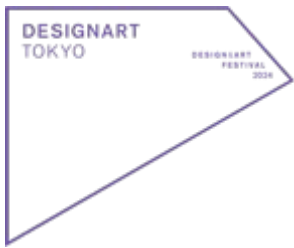
Tokyo Midtown DESIGN TOUCH



ラジオ

J-WAVE 81.3FM

【番組概要】
番組名：「DIG UP!」
放送日：10月21日(月) 18:50-19:00
ナビゲーター：藤田琢己



CREDIT

クレジット

ORGANIZER

DESIGNART TOKYO実行委員会

SUPPORTING MEDIA

J-WAVE 81.3 FM

SPONSORS

Perrier-Jouët

LIXIL

Molteni&C

Sony Design

Paola Lenti

ボルボ・カー・ジャパン株式会社

株式会社ワールド

VENUE SPONSOR

荒川技研工業株式会社

東京ミッドタウン

西武渋谷店

日比谷OKUROJI

株式会社アクシス

3rd. Inc

HOTEL PARTERS

東京エディション銀座

DDD HOTEL

SPECIAL COOPERATION

RANA UNITED

COOPERATION

株式会社中川ケミカル株式会社

乃村工藝社

スタイルム瀧定大阪株式会社

株式会社セットアップ

株式会社ティンバークルー

MDES株式会社

RE:SET

株式会社K3

kabega.jp

リンテックサインシステム株式会社

株式会社ミマキエンジニアリング

株式会社ザ・ビーズインターナショナル

旭酒造株式会社

Bloomberg Connects

株式会社インターオフィス

KEF

Muuto

Roche Bobois

USM modular furniture

Molteni&C

株式会社コンランショップジャパン

MEDIA PARTNERS

Architecture Hunter

Artprice.com by

ARTMARKET

Webマガジン AXIS

知財図鑑

Design Anthology

designboom

Dezeen

ELLE DECOR DESIGN WALK 2024

JDN

Lula Japan

merci magazine

ONBEAT

QUI

リアルリビング& インテリア

SHIFT

商店建築

TECTURE MAG

The Artling

Time Out TOKYO

World Architecture Community

FOUNDERS

Akio Aoki

Shun Kawakami

Mark Dytham

Astrid Klein

Hiroshi Koike

Okisato Nagata

DESIGNART TOKYO COMMITTEE

Ryo Sekido

Yoko Yamazaki

Haruka Sakamoto

Mariko Morioka

Miyu Mukai

Kaede Ueda

Haruto Hirokado

PRESS

Hitomi Kodaka

Nana Hashimoto

KEY VISUAL

Masaki Ogawa

OFFICIAL GUIDEMAP

Shun Kawakami

Ayako Shien

Ryohei Sato

Kohei Ashino

OFFICIAL WEBSITE

RANA UNITED

OFFICIAL PHOTOGRAPHER

Nacása & Partners

TRANSLATOR

Fraze Craze Inc.

CREATIVE WORKS

Naomi Nakamura

Hisashi Ikai

Yoko Dobashi

Aika Kunihiro

Nobuyuki Hayashi

Ryo Usami

Hokei Yamamoto

Takuya Yamauchi

Naoki Miyashita

Akira Kawachi

studiolab404.com

Shinji Wakasa

Keiko Kusano

MENTOR

Ryosuke Sakaki

Kentaro Kasama

Takusei Kajitani

Natsuko Fujiwara

Tomohiro Iizuka

SPECIAL THANKS

Yukinari Hisayama

Yuko Yoshikawa

Masato Warita

Wakako Tanjo

EVERLASTING MEMBER

Dai Takeuchi river